

審査において
こんな質問がされました

◎ 広報広聴費dボタン自治体
広報情報サービス使用料62万1
000円を活用し発信する広報
の情報とは。また、どこの民放
でその選定理由は。

▲ 発信する情報は、新型コロナ
ウイルス感染症や暮らしの情報、
防災、イベント、福祉、子
育てなどの行政情報全般である。
県内テレビ局では、静岡朝日テ

レビのみ自治体広報情報サービ
ス事業を展開しており、このサー
ビスを利用し行政情報を発信し
ていく。

◎ 菊川市魅力発信事業費で、
営業戦略アドバイザーの詳細及
び選定理由と目的は。また、ど
のような方法や頻度でアドバイ
スをもたらすのか。トップセー
ルはどこに対して何をPRする
のか。

▲ 営業戦略アドバイザーは、
本市出身の鬼石真裕氏。営業戦
略及び自治体DXなどの分野に
おける助言や提案をいただき、
営業戦略（マーケティング、シ
ティプロモーション、広報広聴、
移住・定住）の推進や自治体デ
ジタルトランスフォーメーショ
ンの推進を進める際にアドバイ
スいただく。期間は、令和4年
4月1日から令和5年3月31日
までの1年間を予定し延長の可
能性もある。原則は、月2回程
度リモートでアドバイスいただ

き、必要があれば来庁や訪問し
て行う。選定理由は、本市出身
者で市内の状況を把握しており、
そのうえ菊川を離れ外部からの
視点を持ち、現在の知識、経験
を活かしたアドバイスをいただ
くことができると考えている。
トップセールスは、市外や県外
の方々や企業など、効果的だ
と思われる売り込み先に向け、企
業誘致や菊川茶などの特産品、
ふるさと納税などのPRを行う。

◎ 「茶畑の中心で愛を叫ぶ」
イベント委託料は。また、その
目的と効果は。

▲ 魅力発信事業業務委託料は、
調査業務239万3000円、
イベント業務100万円となる。
イベントの内容は、「茶畑の中心
で愛を叫ぶ」と題して、市内外
から参加者を募り、茶畑の中心
に設置された叫び台から大切な
人への思いを叫んでいただく。
コロナ禍で大きな声が出せない
昨今、茶産地菊川の茶畑という

舞台と抜群の開放感を用意し、
大事な人に堂々とメッセージを
伝えるインパクトのある交流促
進事業を実施することで菊川市
と深蒸し菊川茶を全国にPRし
たいと考えている。



主要施策の表紙

◎ 空家対策の新たな取り組み
は。

▲ 空き家所有者の悩みは、相
続や税金、売却など様々であり、
相談は都市計画課で行う。県と
の協賛で空き家ワンストップ無
料相談会を2年に1回開催して
いる。今後は、市単独でも専門
家相談ができる体制づくりを検
討し、新たな相談体制の構築に
取り組む。また、行政指導通知
を送付しても対応しない空き家
所有者がいるため、市内所有者



菊川市の広報情報